



ご挨拶

ようこそ、七尾中学校のホームページに、お越しくございました。

私は、本校へ赴任し2年目になりました、校長の雨河（あめかわ）と申します。皆さまどうぞよろしく願いいたします。

さて、本校は、昭和24年（1949年）4月に開校し、これまでおよそ1万5千人の生徒を送り出した、地域の伝統校です。地域の方に愛され、支えられ、教育活動に取り組んでまいりました。

本校が開校以来、守り続けているのが、校訓「感・考・行」の具現化を目指した教育活動です。校訓が定められた約65年前の日本は、民主国家の実現と経済復興をめざし、感性豊かで、思考力や行動力を備えた人材が求められていたように推察されます。そのような時代背景のもと、校訓「感・考・行」は定められたものと思いますが、令和の時代となった今でも、決して時代錯誤な校訓ではないと確信しています。

今の令和の時代は、多様性の時代であり、価値観も人それぞれ違います。皆が良いと思うものを求める時代から、自分だけが良いと思えるものを見つける時代になっています。このような時代だからこそ、「自ら感じ気づき、自分の頭で考え、主体的に行動する」ことが必要であり、自ら選び（自己選択）、判断（自己決定）し、結果に対して責任を持つこと（自己評価）が生徒にとって大切になります。

令和8年4月、本年度も本校のモットーは、「生徒が主役の学校」です。

生徒にはいろいろなことに積極的に挑戦してほしいと強く願っています。その結果、失敗することもあるでしょう。また、失敗を恐れて挑戦することすらあきらめてしまうこともあるかもしれません。

しかし、この学校の主役である生徒には、たくさん挑戦し、成功と同じくらい、失敗もたくさんしてもらいたいと思っています。そして、失敗から多くを学んでほしいと考えています。

七尾中学校の教職員は、失敗した生徒を何度でも支え、励まし続けます。

校訓「感・考・行」を具現化するための教育活動を充実させ、真に「生徒が主役の学校」となるべく、全ての教職員で本校学校教育に取り組んでまいります。

今後とも、七尾中学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。